

# 取扱説明書/保証書

## デジタル用

取説 No.G-D38c

※取扱い説明書の内容や商品は改良などのため、予告なしに変わる事があります。  
 ※この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
 ※この取扱い説明書は許可なく変更・複製しないでください。

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。お客様の選ばれた商品を末永くご愛用頂ける様、この取扱い説明書をよくお読み頂き正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。尚、この取扱い説明書はお手元に保管していただき、必要に応じてご覧ください。

## 保証書

製品型番	※保証期間はご購入日より1年間です。
お買い上げ日	
ふりがな お客様氏名	
お客様住所	
ご連絡先電話番号	
販売店	

## 保証規定

保証書及び本保証規定に記載した内容によりこの時計を保証致します。

- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間中、正常なご使用状態において、万一故障が発生した場合は、本保証規定によりお買い上げの日より1年間無償で修理・調整させていただきます。本保証書と現品をお買い上げ店にご呈示ください。
- 保証期間中であっても、下記の場合には有償となりますのでご了承ください。
  - ① 誤ったご使用またはお取扱い上の不注意による故障。
  - ② 火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
  - ③ 分解による故障・不具合
  - ④ ご使用中に生じた外装・外観上の変化  
※ケース・ガラス・リュース・バンドのキズ、色落ちなど
  - ⑤ 保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名・捺印・お買い上げ年月日の記入が無いなど、記入事項に不備がある場合。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- 修理の時、ケース・文字盤・針・ガラス・リュース・バンドなど、パーツについては、一部代替部品を使用する場合がございますのでご了承ください。
- 時計本体以外のパーツ（ベルト・フックなど）は保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池切れによる電池交換などは保証の対象外となります。  
お買い上げ後、電池が切れた際には時計専門店・クレファアアフターサービスなどに電池交換（有償）をご依頼ください。
- ご記入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書により保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

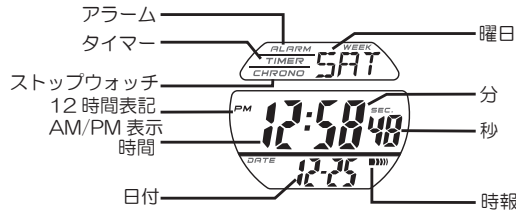
## 各部名称

※商品によって形状が違います。



## ■ディスプレイ表示について

### 通常時刻モード



※曜日の表示  
 日(SUN) 月(MON) 火(TUE) 水(WED)木(THU) 金(FRI) 土(SAT)

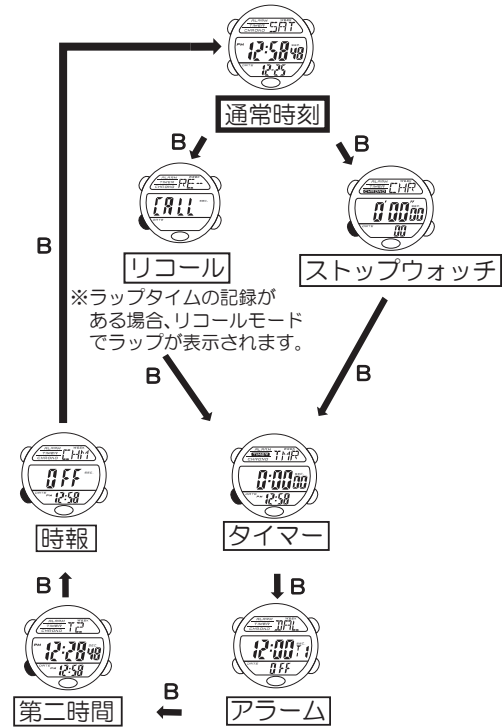
### ●カレンダーの表示

通常時刻モードでCボタンを押している間、カレンダーを表示出来ます。上に「DAT」(DATEの略)が表示されます。Cボタンを離すと通常時刻モード画面に戻ります。

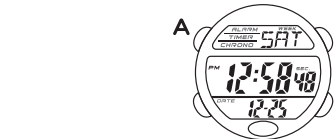


## ■モードの切り替え

時刻を表示している画面でBボタンを押していくと、以下のような順番でモードを切り替える事が出来ます。



## ■時刻設定



通常時刻モードにしてください。

Aボタンを3秒間長押し⇒秒が点滅 C又はDボタンで設定  
 ※0秒～30秒の間にC又はDボタンを押した場合、分はそのままで秒が00に戻る  
 ※30秒～60秒の間にC又はDボタンを押した場合、分は1分繰り上がり、秒は00に戻る

- Bボタンを押す⇒分が点滅 C又はDボタンで設定
- Bボタンを押す⇒時が点滅 C又はDボタンで設定
- Bボタンを押す⇒年が点滅 C又はDボタンで設定
- Bボタンを押す⇒月が点滅 C又はDボタンで設定
- Bボタンを押す⇒日が点滅 C又はDボタンで設定

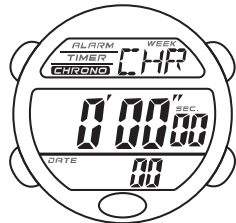
Bボタンを押す⇒12/24時間表示切替選択  
 C又はDボタンで選択

Bボタンを押す⇒ボタン音ON/OFF切替  
 C又はDボタンで選択

Aボタンで設定を保存・終了

## ■ストップウォッチモード

### ●ストップウォッチの操作方法(最大計測時間99:59:59)



通常時刻モードから

Bボタンを1回押す⇒ストップウォッチモード  
 (「CHR」と右上に表示されます。)  
 ※既にラップ/スプリットの記録がある場合、リコールの画面になります。計測をしたい場合は、Aボタンを3秒間長押しし、データをリセットしてください。リセットすると自動で計測画面になります。

Cボタンを押す⇒計測スタート Dボタンを押す⇒計測一時停止

再度Cボタンを押すと、計測を再開(何回でも繰り返す事が出来ます。)  
 ※計測中は「CHRONO」アイコンが点滅します。  
 この時、別のモードに画面を切り替えても計測は続いており、「CHRONO」アイコンは点滅し続けます。  
 ※99:59:59秒になると、ストップウォッチは自動で停止します。

計測がストップしている時、Aボタンを押す⇒計測時間リセット

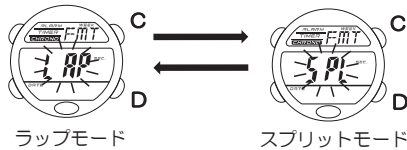
## ●ラップ/スプリットタイムの使い方

### ■ラップ/スプリットタイムのモード変更

通常時刻モードから

Bボタンを1回押す⇒ストップウォッチモード

Aボタンを3秒間長押し⇒ラップ/スプリット表示選択画面  
 ※記録したラップタイムとスプリットタイムは、双方とも後からリコールモードで確認することが出来ます。ここで選択するのは計測中にリアルタイムで確認する際の表示形式です。



C又はDボタンでラップ/スプリットモード選択

Aボタンで確定

### ■ラップ/スプリットタイムの記録

通常時刻モードから

Bボタンを1回押す⇒ストップウォッチモード

Cボタンを押す⇒計測スタート

Cボタンを押す⇒ラップ/スプリットタイムを記録  
 ※ここで表示されるのは、上記で選択したラップ「LAP」もしくはスプリット「SPL」タイムのどちらか一方です。記録はラップ/スプリット、どちらも行なわれます。  
 ※タイムの表示は約0.8秒で、その後計測画面に戻ります。  
 ※最大50ラップ/スプリットタイムを記録出来ます。最大まで記録すると、自動で計測がストップします。

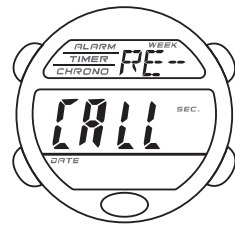
Dボタンを押す⇒計測一時停止  
 ※ストップしている間はラップ/スプリットタイムの記録に含まれません。

Cボタンを押す⇒計測再開(再度ラップ/スプリットの記録を取るには、もう一度Cボタンを押してください。)  
 ※計測一時停止中にAボタンを押す⇒リコールモードになり、ラップ/スプリットの記録を表示します。(この動作を行なった後は、記録をリセットするまで計測を再開する事は出来ません。)リコールの見方は次項をご覧ください。

Aボタンを3秒間長押し⇒記録が全てリセットされます。

## ■リコールモード

リコールモードは、ラップ/スプリットタイムの記録がある時にのみ表示されます。先にストップウォッチモードで計測を行ない、タイムを記録してからご覧ください。



通常時刻モードから

Bボタンを1回押す⇒リコールモード呼び出し画面  
 (約0.8秒表示されます)  
 最初のラップもしくはスプリットタイムを表示

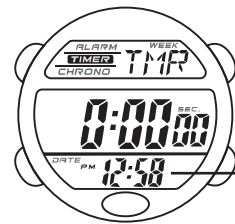
Dボタンを押すと、ラップとスプリットの記録表示を切り替える事が出来ます。(※どちらも1回目の記録です)

Cボタンを押すごとに次の記録を見る事が出来ます。毎回Dボタンでラップとスプリットの記録を切り替えて見る事が出来ます。  
 ※ラップは、一番最後の記録を表示した後、再度Cボタンを押すと平均時間「AVG」と次に総合時間「TOL」を表示する事が出来ます。

Aボタンを3秒間長押し⇒全ての記録をリセットします。

## ■タイマーモード

### ●タイマー時刻設定(最大設定時間23:59:59)



現在時刻表示

通常時刻モードから

Bボタンを2回押す⇒タイマーモード

Aボタンを3秒間長押し⇒時間が点滅 C又はDボタンで時間を設定

Bボタンを押す⇒分が点滅 C又はDボタンで分を設定

Bボタンを押す⇒秒が点滅 C又はDボタンで秒を設定  
 ※Bボタンを押すと再度時間設定に戻ります。

Aボタンを押す⇒タイマー時刻設定完了

## ●タイマーの使い方

上記タイマー時刻設定を行なった後

Cボタンを押す⇒タイマースタート  
 ※タイマーが作動している間、ディスプレイ左上の「TIMER」アイコンが点滅します。この時、違うモードに切り替えてもアイコンは点滅し続けます。

Dボタンを押す⇒タイマー一時停止  
 ※一時停止状態でAボタンを押すと、カウントがリセットされます。  
 Aボタンを長押しすると、タイマー時刻設定になります。

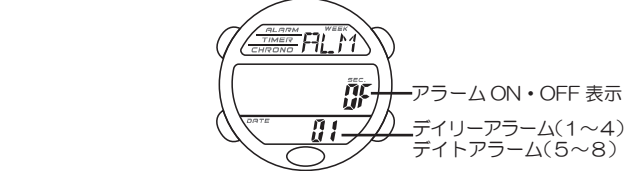
Cボタンを押す⇒タイマー再開  
 ※カウントが残り10秒をきると、「ピッピッ」と1秒ごとに音を鳴らします。  
 ※カウントが0秒になると、ピープ音を鳴らして知らせます。10秒間鳴り続けた後、自動的にストップします。  
 どのボタンを押してもピープ音を止める事が出来ます。ピープ音が止まると、カウントがリセットされ、最初のタイマー時刻に戻ります。



## ■アラームモード

### ●デイリーアラームの使い方

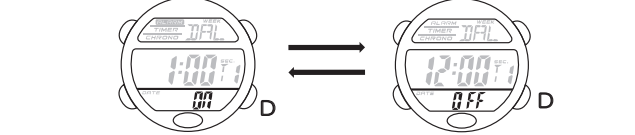
デイリーアラームとは、毎日、設定した時刻にアラームを鳴らす機能です。アラームは1～8まであり、最初の1～4がデイリーアラームとして使用出来るアラームです。



通常時刻モードから  
**B** ボタンを3回押す⇒アラームモード(「ALM」と右上に表示されます。)

**C** ボタンを押していくとアラーム1～8まで選択出来ます。デイリーアラームを設定する時は1～4のどれかを選択します。※ディスプレイ上部に「DAL」と表示されます。

アラーム1～4の中で選択した後、**D** ボタンでアラームON・OFFの切り替えが出来ます。



### ■デイリーアラーム時刻設定

アラーム1～4の中で設定したいアラームの画面にします。

**A** ボタンを3秒間長押し⇒時間が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**B** ボタンを押す⇒分が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**B** ボタンを押す⇒**C** 又は**D** ボタンで「T1」又は「T2」を選択
※「T1」は通常時刻に対してのアラーム
「T2」は第二時刻に対してのアラームです。
どちらか一つを選択出来ます。

**A** ボタンを押す⇒アラーム時刻を確認
※自動的にアラームONになります。
※アラームは、時刻が来ると20秒間鳴り続けます。どのボタンを押しても止めることが出来ます。

### ●デイトアラームの使い方

デイトアラームとは、特定の日付・時間に一回限り鳴らすアラームです。アラーム5～8がデイトアラームとして使用出来るアラームです。

通常時刻モードから  
**B** ボタンを3回押す⇒アラームモード

**C** ボタンを押していくとアラーム1～8まで選択出来ます。デイトアラームを設定する時は5～8のどれかを選択します。※ディスプレイ上部に「DAT」と表示されます。

アラーム5～8の中で選択した後、**D** ボタンでアラームON・OFFの切り替えが出来ます。

**A** ボタンを3秒間長押し⇒月が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**B** ボタンを押す⇒日が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**B** ボタンを押す⇒時が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**B** ボタンを押す⇒分が点滅 **C** 又は**D** ボタンで設定

**A** ボタンを押す⇒アラーム時刻を確認
※自動的にアラームONになります。

## ■第二時刻モード

第二時刻モードとは現在時刻の他に別の時間を設定する事が出来る機能です。海外旅行や海外ビジネスに便利です。



通常時刻モードから  
**B** ボタンを4回押す⇒第二時刻モード(「T2」と右上に表示されます。)

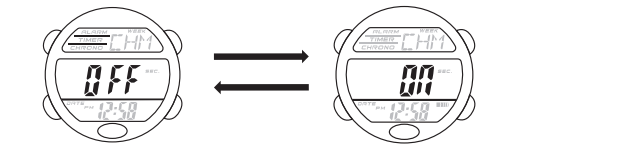
**A** ボタンを3秒間長押し⇒分が点滅
**C** 又は**D** ボタンで分を設定
※設定した現在時刻から30分単位で変更出来ます。

**B** ボタンを押す⇒時間が点滅
**C** 又は**D** ボタンで時間を設定
**A** ボタンで第二時刻設定完了

## ■時報 (チャイム) のオン・オフ

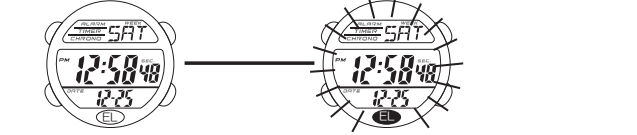
通常時刻モードから  
**B** ボタンを5回押す⇒時報オン・オフ切り替え画面(「CHM」と右上に表示されます。)

**C** 又は**D** ボタンでオン・オフを切り替えることが出来ます。



## ■ELライト

ELライトボタンを押すと、ELライトを点灯させることが出来ます。



# ■製品仕様

■内蔵クォーツ精度	月差±30秒以内(気温25℃で使用した場合)
■正常動作温度	+10℃～+40℃
■電池寿命	約1年半
■使用電池	リチウムバッテリー (CR2025)
■表示内容	①時刻・カレンダー (西暦/月/日/曜日) <p>②ストップウォッチ機能 (最大99時間59分59秒)</p> <p>④アラーム機能 (毎日・一日)</p> <p>⑤タイマー機能 (最大23時間59分59秒)</p> <p>⑥第二時刻表示</p> <p>⑦時報</p> <p>⑧12/24時間表示切り替え</p>
■ELライト	
□外観・機能など全ての仕様は、改良等の為予告なく変更になる場合があります。	

## ■安全上の注意

■ご使用になられる方や他の人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下の表示で区分されている内容につきましては一読してご確認の上、必ずお守りください。

<b>⚠ 警告</b>	<b>⚠ 注意</b>
この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 防水性について

### ⚠ 警告

- 日常生活用防水（3・5気圧）の時計は、水の中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（10～20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。
- 防水構造の時計でも、シャワーや入浴等の温水で使用する事は避けてください。

防水性能表	非防水	日常生活用防水		日常生活用強化防水	
		3気圧	5気圧	10気圧	20気圧
洗顔や雨など、一時的にかかる水滴	×	○	○	○	○
家庭の水仕事や雨など	×	×	○	○	○
水泳や水仕事など、長時間水にふれる場合	×	×	×	○	○
空気ポンペを使用しないスキュービング	×	×	×	×	○
空気ポンペを使用する本格的なダイビング	×	×	×	×	×
水滴がついた状態での、ボタンやリュウズの操作	×	×	×	×	×
シャワーや入浴などの温水での使用	×	×	×	×	×
※防水を示す表示とは、WATER RESISTANT/WATER RESIST/WR等の表現で時計に刻印または印刷された物を指します。 <p>※SHOWER PROOFと表示された物は、非防水として扱ってください。</p> <p>※防水性能にはバンドは含まれません。</p>					

### ⚠ 注意

- 水中あるいは水分がついたままでのボタン操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良・故障の原因となります。

- 非防水時計については、一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。万一、水や汗で濡れた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

- 日常生活用強化防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。

- 日常生活用強化防水時計（10～20気圧防水）の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。

- 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の湿気より低い時などに、ガラス面がかもる場合があります。一時的な場合は支障ありませんが、くもりが長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買い上げ店にご相談ください。

## 衝撃・温度について

ショック	軽スポーツによる影響はありません	●床に落とす、ぶつける等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。
振動	乗り物等の軽い振動による影響はありません	●オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に誤差が生じる事があります。
温度	35℃をこえる場所での精度は不安定になります。	●直射日光が長時間あたったり、高温になる所に置かないでください。
	5℃に満たない場所での精度は不安定になります。	●寒い所に長時間置かないでください。
■温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。 <p>■－10℃以下、＋60℃以上の温度下に放置すると、性能が低下したり、停止する事があります。</p>		

## 水銀・化学薬品・ガスなどについて

### ⚠ 注意

- 水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）にガス等が触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形・破損する場合がありますので、充分ご注意ください。

## 電池についてのお願いとご注意

### ⚠ 警告

- お客様は時計から電池を取り出さないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池を直ちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 万一飲込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師とご相談ください。
- 破裂・発熱・発火等のおそれがありますので絶対に電池をショート・分解・加熱・火に入れるなどしないでください。
- －10℃以下、＋60℃以上の温度下で放置しないでください。

## その他

### ⚠ 注意

## ケース・バンドのお手入れ

- ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服を汚したり肌の弱い方はかぶれたりする事がありますので、そのままにせず汚れや水分は柔らかい吸湿性の良い布でふき取り、常に清潔にしてお使いください。また、汗をかきやすい季節等には、バンドを少しゆるめにして通気性を上げるなどとして、お使いください。

## 軟質プラスチックバンド

- ウレタンバンド等、軟質プラスチック製のバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合もありますので、時々石鹸水で洗ってください。
- 化学製品なので、溶剤等によって変質することがあります。
- 通常数年の使用で材質が硬化してきますので、その際は新しいバンドと交換してください。（有償）

## 色落ち

- 皮革・軟質プラスチックのカラーバンドは、変色・色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- カラーバンドを水に濡れたまま、または温った状態で使用すると色落ちの原因となり、衣服を汚すおそれがありますのでご注意ください。

## メッキ部品

- 金属バンドやその他金属部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキのはく離（ハガレ）や腐食の原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする事もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

## 耐水処理バンド

- 製品により、汗や水に触れても吸収しにくい処理を施したナイロンや皮革バンドを使用している物があります。このバンドの耐水性は使用期間や使用条件により差がありますが、徐々に効果が衰えますのでご了承ください。

### ⚠ 警告

- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによってお客様の大切な衣類や身体を傷つける事がありますので、充分にご注意ください。
- バンドの脱着の際に中留めなどで爪をキズつけるおそれがありますので、ご注意ください。
- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う可能性がありますので、充分にご注意ください。
- 特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったり、アレルギーによるカブレをおこしたりする場合がありますので充分にご注意ください。

## かぶれやアレルギーについて

### ⚠ 注意

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
- かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
- 万一肌などに異常が生じた場合は直ちに使用を中止して、医師にご相談ください。

## アフターサービスについて

- 保証期間中のアフターサービスについては、保証規定をご確認の上、お買上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。保証期間中は原則的に修理が可能ですが、保有パーツの在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承ください。
- 実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他ににお買い上げ店と修理工場との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

## 製造元 株式会社クレファー

**株式会社クレファーアフターサービス**  
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1  
TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106  
(土休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)